

## 第6回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第6回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

### 【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成23年6月調査

	調査数	前回調査		今回調査		
		A 現況 (H23. 3)	見通し (H23. 4-6)	B 現況 (H23. 6)	(B-A) 前回現況 との対比	見通し (H23. 7-9)
<b>総 合</b>	<b>100</b>	<b>-38</b>	<b>-37</b>	<b>-45</b>	<b>-7</b>	<b>-12</b>
農業	10	-70	+10	-78	-8	-11
建設業	11	+18	-36	-55	-73	+9
製造業	11	-27	-27	-9	+18	-9
卸売・小売業	25	-36	-32	-44	-8	-24
観光業	10	-80	-50	-50	+30	+50
飲食業	10	-30	-50	-50	-20	-40
サービス業	23	-43	-56	-39	+4	-26

#### 結果のポイント

- ・総合景況感は、依然としてDI値マイナス（45）である。
- ・前回3月調査値（-38）と比べるとマイナス7となり、景況感は悪化した。
- ・業種ごとに見ると、建設業の景況感は前回調査値（+18）と比べるとマイナス73と悪化する一方、観光業は前回調査値（-80）と比べるとプラス30と改善しており、その変動は顕著である。
- ・今回の総合景況感の悪化については、震災を遠因とするものもあるが、天候（降雨）等の複合的な要因が重なったものと見られる。

- 調査目的 本市の経済動向をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容 （1）現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答  
（2）3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 （1）現在の景況感（2）3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い（良くなる）」の構成比から「悪い「悪くなる」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。  
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。  
「DI」（Defusion Index、デフュージョン・インデックス）は、企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）などで用いられています。